

## 楽庵ニュース 第14号

2016年6月1日

発行元: NPO 法人茅ヶ崎ユニバーサルデザインスクエア

地域活動支援センター 楽庵

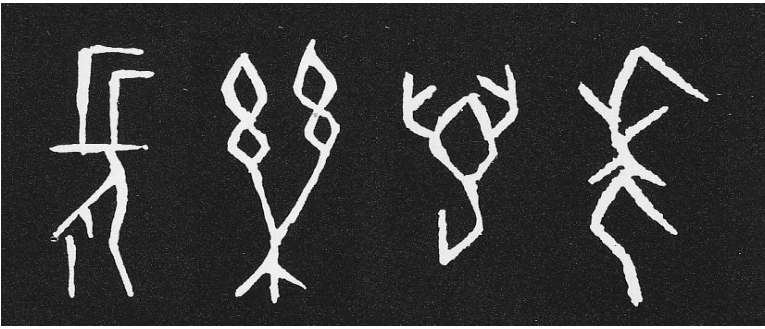
茅ヶ崎市浜竹3-4-64

AX 0467-86-5888

ホームページ <http://park11.wakwak.com/~rakuan>

メールアドレス [rakuan@aq.wakwak.com](mailto:rakuan@aq.wakwak.com)

\* 長楽萬年(古代文字): 楽しいことの幾久しく限りないこと。



湘南・四季の花 アジサイが咲くと初夏の気配＝茅ヶ崎市萩園

## 楽庵十年の歩みの中で

### 当事者の二一ズ

今から三十年前、東西を分断した壁が崩壊した。当時私は、茅ヶ崎徳洲会総合病院に勤務していた。大きな政治のうねりを感じていた。民主化が進み、その後の目覚ましい情報化の中で、入院中の患者さんほか、情報弱者といわれる人とも情報交流をしてきた。

児への、さまざまな補助具や作陶の方法を習いに行っていた。私は、翔の会の斉藤しずかさんや脳外傷友の会の東川悦子さん大塚由美子さん他たくさんの方のご教示やご支援を賜った。

身一つで二歳のときに引き揚げ戦後の復興を信じて誠実に夫は生きてきた。日立製作所のエンジニアであったが、国際標準化の仕事をしていて海外出張が多かった。その中でボランティ

当時、脳血管障害や脳外傷の発症後のリハビリは、地域から離れ遠い厚木の神奈川県総合リハ病院に入院せざるを得ない状況だった。

アとして、病院の患者さんのためにパソコンの修理、簡易入力装置の製作をしていた。定年前に退職して、藤沢養護学校の

障害から逃げることも、リハビリを避けることもできない、ダブルバインド状態の患者さんの地域での居場所を作りたいという思いで私たちは動いた。

の新出教諭に重い障害

神奈川県総合リハ病院の、言語科、科長であった故佐藤昭一さんにもリハビリテーションのあり方に関して示唆をいただいた。人生は運に左右される。看るもの診られるものは偶然に過ぎないといわ



れた。今また政治もあやうい方向になってきている。振り回されず動きたい

楽庵にいるメンバーは、中途障害になり人生の夢が破れ環境や他者との関係つくりに躓き生き辛さを感じている。戻れるところは必ずあると信じている。

楽庵は、環境や他者との関係を再構築する場として機能していきたくと思う。夫亡き今、初心を忘れず精励していきたく。神谷美恵子の言葉に「生きている事が辛いんじゃない。環境が作れない事で困っている」とある。リハビリ共同体として挑戦をし続けたい。(近藤 裕美)

## バーベキュー大会

平成27年10月16日(金)、作業所・楽庵のレクリエーション企画として、茅ヶ崎市の

柳島キャンプ場に於いての、バーベキュー大会をメンバー



全員で行った。

当日は生憎の小雨模様であったが、屋根付きのよく整備されたバーベキュー場であり、暑くも無く、絶好のバーベキュー日和であった。

柳島キャンプ場には、バーベキューを行うための竈が既に用意されており、我々参加者は食材を用意して行くだけである。そのため、有志にて食材を買出しする時から胸躍り、楽庵メンバー全員でのバーベキュー大会を楽しむ事が出来た。

当日は、メンバーが3班に分かれ、1班およそ7〜8名

で、3基の竈を取り囲んだ。

バーベキューを楽しむ際に、一番困難なのは薪へ着火する事であるが、それぞれの竈に分かれた3班は、何の困難もなく薪に着火をする事ができた。

そのため、あらかじめカットされた野菜や、肉などの食材を焼く事に集中出来、普段とは違って外での食事に会話も弾んだ。

普段は室内での創作活動に勤しむ楽庵メンバーであったが、屋外での作業もまた、各々が楽しむ事が出来た。

バーベキュー大会が終わり、余分となった食材も少なかつた事からも、皆の食欲を実感出来た秋の一日であった。

(天城 祐一)

## 中華街・横浜散策

平成27年12月14日、皆で横浜の中華街とその周辺に忘年会に行きました。

私は、約30年、横浜に住ん

でいましたが、あまり行った事はありません。

人が多い所は、あまり得意ではありませんので、緊張していました。1年前の楽庵の忘年会でも、同じコースに行った事を覚えていたので、中華料理がとても美味しく今年も楽しみに、当日、中華街に到着して、店に入る前に感じたことは、平日なのに、人がすごかった事です。

あまり混んでいなくて、歩きやすいと思っていたので、少し怖かったです。

店に入って料理を待っている時は、早く食べたい気持ちが強烈でした。

料理が運ばれて来て、一口食べた瞬間、美味しさにビックリして、今までの緊張は無くなりました。

料理は、全て美味しかったのですが、特に印象に残っているの



は、『エビ入りラーメン』でした。普段からラーメンが好きなので、中華街の『エビ入りラーメン』は、とても美味しかったです。

中華街での食事を終えて、坂を上がって色々な国のクリスマスイルミネーションを見に行きました。どの建物も、とてもオシャレで、綺麗な建物で、内装も美しく、食器等が置いてありました。

自分だったら、『あんなオシャレにしていると、気をつかうから、イヤだ』と思います。日本との文化の違いが、建物、内装に出ています。

中華料理、異人館等、文化の違いを感じました。

普段は人が多い所に行く事、文化の違いを感じる事は少ないので、貴重な体験でした。

(田代 哲也)

## 陶芸入門講座を終えて

地域活動支援センター「楽庵」では、地域の皆様向けに、陶芸入門講座を行いました。その時の様子をお知らせしたいと思います。

1月15日と22日に、作品作りを行いました。自分の作りたい物を発表しあつた後、考えてきた思い思いの作品を作りました。作品は、カレー皿、前菜皿、湯飲み茶わん、一輪挿し、ビアージュツキー等バラエティーに富んでいました。

初めは緊張した様子でしたが、作業が進むにつれ笑顔も出てきて、楽しい会話しながらの作品作りとなりました。

カレー皿（板づくりで）を作るHさんは、メンバーさんのTさん、（板づくり名人）の協力のもと、交流を深めながら楽しそうに作



たが、楡目の美しい長皿を作

品を作っていました。

ご主人へのプレゼントの湯飲み茶わんを作っていたOさんは、悪戦苦闘しながら心を込めて作った結果、桜の花びらがとても美しい素晴らしい作品に出来上がりました。（Oさんの気持ちは、ご主人にきつと届いたと思います。）

2月5日は、釉掛けと作品の窯づめを行いました。初めにメンバーのSさんに（ろくろ名人）釉掛けの見本をやってもらいました。その後、各自手本を参考にして作品に釉掛けを行いました。

つたOさんの作品は、釉薬の濃淡がとても味わい深い表情に出来上がりました。

釉掛けをした後、楽庵釜へ窯づめに行き3回目が終わりました。

2月12日は、作品が完成し鑑賞会の日です。皆さんの作品がどのように出来上がったか、期待と心配で一杯だったと思います。

完成した作品を見て、皆さんの表情から笑顔がこぼれていました。一人一人の作品を鑑賞した後、陶芸入門講座の感想を書いてもらいました。

### 【感想】

- ・こねる段階から藁をまく技法、手びねり、板づくり等様々な手法を体験出来て、陶芸の奥深さを知り、また作る喜びを感じることが出来ました。
- ・土に触れることによってストレス等全てを忘れて作業に没頭し、日頃味わうことのできない非日常を体験できてよかったです。

一言で言って、大変楽し



い時間を過ごさせていただきました。毎回金曜日に来るのが楽しみでした。

- ・初めての陶芸でどうなる事かと思いましたが、記念の良い作品が出来ました。
- ・定期的に開催されると、より一層楽しいと思います。

楽庵としては初めての陶芸入門講座でしたが、参加者4名の方にとって楽しい貴重な時間になった事が、うれしく思います。

楽庵のメンバーにとつ

ても地域の方との交流がとても大切なよき時間になったようです。楽庵としては、このような地域との交流をこれからも継続していきたいと思えます。（田辺 和男）

## パソコンシステム

### リニューアル

平成19年に導入したパソコンの老朽化更新が、平成26年度及び平成27年度で完了しました。

結果、ノートパソコンでは消費電力が1/2に、処理速度が1.5倍となりました。また、利用するソフトウェア（オフィス/ウイルス対策ソフト）も、テックスープ・ジャパンを通して購入することにより、市価の1/10位で導入でき、経費節減にもなりました。

同時期にOSもウィンドウズ10に一新し、今後のデータ処理やシステム学習に役立てていきます。（高崎 義裕）

## ありがとう 竹内さん

今年三月は、感謝の季節でした。楽庵設立から、職員として勤務してくださっていた竹内嘉宏さんが三月で退職になりました。

竹内さんは、楽庵には欠かせない方でありましたが、その他、福祉ボランティアにも熱心に勉強をされている方でもありました。

また、スポーツ（水泳やスキューバー、大学時代には空手）をされている事もあり、年齢を間違えてしてしまうほ

ど若く、爽やかな雰囲気をお持ちでした。

その事も、利用者さんの信頼や人気を集めていたものの一つではないかと、思っています。

竹内さんは、以前はパソコン関連の会社にお勤めなっていた事もあり、特にパソコン指導に携わっていたたく事が多かったように思います。

利用者さん方は、「竹内さんにパソコンを教えていただきと、細かい事柄でも何度度も教えて下さり、確実に理解する事ができると、口々におっしゃっていました。

竹内さんは、楽庵を退職された後に、また、傾聴ボランティアなどの活動をなさるとの事です。どうぞ、これからも竹内さんの心の温かさやひたむきさを楽庵の方たちだけではなく、沢山の人々へ元氣や明るさなどを



持たらせてあげて下さい。

私たちも竹内さんの気持ちを支えにして、楽庵で日々過ごしていきたいと思っております。最後に、竹内さん、本当に、ありがとうございました。

(海老名 倫子)

## 吉田さん よろしく

4月から、新たに楽庵の一人として勤務された吉田菜生さんのご紹介をさせて頂きます。

ご主人とギター教室でお会いしたのがきっかけでした。いつも奥様の事をお話しされていたので、初めて菜生さんとお会いした時も、まるで以前からのお知り合いのように打ち解けて楽しくお喋りできたのを覚えています。去年、私が、手首を骨折し手術を控えて不安を抱え不自由な日々を送っていた時、わざわざお見舞いを届けて下さいました。手提げを覗くと、



片手でも扱える、しかもおいしい坊な私のテンションを上げてくれる珍しい食材が並んでいて、改めて彼女の気遣いに感激したものです。「郵政チャレンジド」という、日本郵政グループにおける障害者雇用を促進する為の特例子会社で、知的障害者に係わるお仕事をされてこられた吉田さんは、努力家で、とても、勉強熱心な面と、二児の母として生活を楽しむ豊かさも合わせ持った素敵な方です。謙遜されそうですが (笑)。

(小橋 裕子)

## 編集後記

楽庵に来て、二度目の中華バイキング。横浜洋館散策。十二月というのに、昨年は秋が長かったせいか寒くもなく、散策にちょうどよい天候でした。

ちよつとした、アクシデントもありましたが、スタッフはじめ、メンバーさん各々がお互いを思いやり、助けあいながら、とてもよい経験ができました。

(大林 万里子)

柳島でのキャンプ場でのバーベキュー大会。あいにくの雨でしたが、皆さん楽しんでいました。美味しいお食事をして、スツフ・メンバーさん、皆さんで過ごした時間は、楽しい時だったと、思います少し寒かったけど：美味しい、楽しい、時間でした。

(金沢 亜子)